

近年、透析患者の高齢化はさらに進み、それに伴う合併症も増加してきている。このような患者に対して安定した透析療法の実施が望まれると共に、透析療法の質を向上させるためにさまざまなモニタが開発・使用されるようになってきた。

除水による循環血液量が減少し血圧低下を起こすため、循環血液量変化率とヘマトクリット変化をモニタリングすることで血圧低下を事前に予想し、除水量の調整を行うことができる循環血液量モニタ、透析液の排液を採取して Kt/V や尿素除去率等を測定する透析量モニタ、透析装置とは別となるが、非侵襲的かつ連続または間歇的に心拍出量を測定したり、レーザ技術を用いて皮下の血流量を非観血的に測定したりできる循環動態モニタ、多周波数生体電気インピーダンス法による体

内水分量、体脂肪量、筋肉量、位相角、またそれらの比率が測定できる身体組成分析装置、そして、エコー下穿刺やシャント・血管管理に使用されている超音波診断装置などである。エコー下穿刺は誰でも短期間で習得することができ、穿刺ミスや血管ダメージの低減につながる。また、バスキュラーアクセスを管理するに当たり、超音波検査による血流機能評価と形態評価は、その時期を見極める手段として高い有用性がある。

今回これらの各種モニタについて、原理、使用法、特徴をわかりやすく解説いただくと共に、透析患者を対象として、より効果的な使い方をご教示いただいたので、明日からの透析療法に活かしていただければ幸いである。

(山下 芳久)

2022 年 (Vol. 38) 特集のご案内

- No.① 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう
No.② 腎性貧血治療の課題と対策—HIF-PH 阻害薬, ESA, 鉄剤をめぐる
No.③ 多職種連携による透析医療
No.④ 便秘と慢性腎臓病・透析医療

- No.⑤ 透析療法における各種モニタリングの Front line
No. 6 CKD 診療における漢方と補完代替療法
No. 7 バスキュラーアクセスの作製・管理・修復の基本方針〔増刊号〕

(既刊は○)

臨床透析® Vol.38 No.5

© 2022 年 5 月 10 日発行
定価：2,860 円
(本体 2,600 円 + 税 10%)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541